

【教育目標（目指す児童像）】
・かしこい子 ・やさしい子 ・たくましい子
【目指す学校像】
学びと笑顔、元気あふれる学校



【3つのキーワード】
重なりの協調 柔軟な捉え方
愉快地に楽しく

校長 渡部 順一

活きた時間



【3年生のリレーの学習：バトンをつないでゴールを目指せ】

子供たちも私たち大人も、当たり前ですが一日は24時間で日常生活を送っています。この時間ですが、次のように二種類の考え方があります。

一つが、時計によって刻まれる時間で、物理学にちなんで「物理的時間」と呼ばれるものです。例えば、時計で時刻が示され、これに従って新

幹線が定刻通り運行します。

もう一つが、同じ時間でも人それぞれによって、感じる長さが違う場合があります。これを「心理的時間」と呼びます。

例えば、下記の4つの良さが感じられる体育授業が実践されれば、間違いなく、子供たちは夢中になり、この「心理的時間」が短く感じられます。戸ヶ崎小でも、このような授業を目指し努力していますが、上記写真の3年生の「リレー」の授業では、次の4つの良さが多くの場面で発揮されていました。

- ① 動く楽しさ 精一杯身体を動かす爽快感
- ② 集う楽しさ 友達と協力する充実感
- ③ 解かる楽しさ 良いやり方が解った時の驚き
- ④ 伸びる楽しさ 良い動きができるようになったり、上手にできるようになったりする達成感

特に、リレーの学習の前半戦ではなかなか1位になれないなど、力を発揮しきれなかったチームが、学習の後半戦で時には1位を取るという、④の伸びる楽しさを十分に体感できていました。

運動だけでなく、学習に、読書に、遊びにと、学校生活の様々な場面で、この心理的時間が充実し「活きた時間」となるよう、季節に応じて今後も子供たちと一緒に、教育活動を一層充実させて参ります。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

子供たちだけでなく、私たち大人も何かに夢中になって、短く感じられる「心理的時間」≡「活きた時間」が、多く持てるといいですね。